

## NEWS LETTER

### 園長の独り言 (最終回)

今日、三月三十一日は朝からしとしとと春雨が降っています。それでも昨日開花した学園の桜の花はけなげに仲間を増やしています。これなら四月七日の花見バーベキューは満開の花の下で楽しくできることでしょう。

ところで、三月の学園便りが最後と気合を入れて書いたのですが、非情にも某主任児童指導員が特集号を出すからもう一回原稿を書いてくださいと言ってきました。(それはないだろう、本当に出すの：予定は早く言っよ。笑)

下関大平学園では多くのことを学ぶことができました。ありがたい感謝しかありません。生まれる前から続いている「ご縁」そして人と人が作り上げていく「絆」、今は「結」に心を奪われています。通勤の行き帰り「miwa」さんが歌う「結」を聞き、何とか持ち歌にしたいと思っているところです。いずれにしても人は一人ではない、支えることもあるかもしれないが、実は多くの人に支えられて生きていることを学園で知ることができました。そして少し視点・視線を変えれば小さいけれど沢山の楽しいこと、幸せなこと、嬉しいことがあることに気づかせていただくことができました。お陰様で、きつと息の続く限り嬉しいことなどを見つけて続けることができるのかな！

朝、家を出るときです。女房と話したことです。八歳になって五日目、県庁の正庁会議室で辞令を受け働き始めて今日でちょうど五十年だね半世紀か、よくも使ってもらったことができたものだね、人との出会いに感謝しかありません。新しくスタートする明日からは自分自身が雇用主です。大丈夫か？「結」の歌の中に出てくる「うつむいた瞳には映らないけど、見上げればこんな青空はひろいの」。「夢は描いた人しかかなえられない」、確かにそうだ視線を変えて新たな出会いを希望に再スタートします。

でも、学園の子どもたちや児童養護施設の子どもたちとはいままで繋がって行きたいな。四月二日には県下五施設の子どもたちがいちご狩りに来てくれます。お腹いっぱい食べて田んぼの中を走り回ってください。幸せのおすそ分けをいただくと家族全員わくわくして待っています。

終わりにやはり、世に生まれた全ての子どもたちが幸せになりますように、そして、子どもたちを支える多くの皆様方が幸せでありますように願っております。本当にお世話になりました。

下関大平学園 園長 吉富悦雄

### 退職のお知らせ

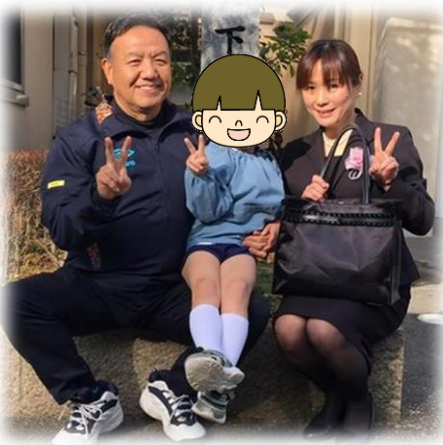
退職 (平成二十九年三月三十一日付)

施設長 吉富 悦雄

雇用契約期間満了

保育士 谷本 真太郎

調理員 長野 省三



### 後記

「新しく園長になりました、吉富悦雄と申します。」と、ご挨拶をされたのが、早や八年前。ついに吉富園長が退職の日を迎えられました。吉富園長との思い出は、職員も子どもも沢山残っています。声がクソでかいこと、涙もろいこと、フットワークが軽いこと、酒はそんなに好きではないが酒の席は大好きなこと！

吉富園長から八年前でたくさんのお話を教えて頂きました。その中でも、特に心に残っていることがあります。

「流れのない水は腐る。まず石を投げて波紋をたてないと何も始まらない。失敗を恐れずに石を投げなさい。」

八年前にこの言葉を頂き、私は石を投げました。吉富園長はその石を受け止めてくれた。時には全力で投げ返してくれました。

これからも、「悦雄の石(意志)」を大切に守りの下関大平学園ではなく、攻めの下関大平学園で、子どもたちを大切に育てていきます。

八年間、石の投げ合いを、ありがとうございました。



社会福祉法人 下関大平学園 (児童養護施設)  
〒751-0828 山口県下関市幡生町1丁目1-22  
電話：083-222-6801 FAX：083-222-4566  
代表メールアドレス：s.taiheigakuen@song.ocn.ne.jp  
公式ホームページURL：http://taiheigakuen.sakura.ne.jp/  
Facebook・LINEでも情報発信中！